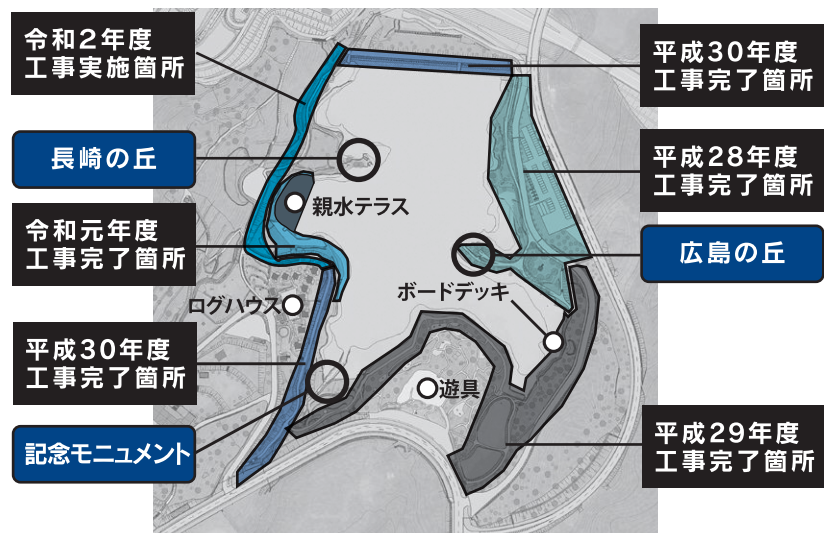


公園整備の状況

大池公園の再整備は平成28年度から開始し、平成28・29年度に東側遊歩道と駐車場・ボードデッキの整備、平成30年度に大池堤体部分と西側のログハウス付近の遊歩道の再整備、そして本年6月には新たな水辺空間として、親水テラス(野外ステージ)の整備が完了しました。

現在残りの西側遊歩道の整備を行っています。整備工事区間は通行止めとなっております。公園利用者の方にご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。



広島・長崎爆心地中間点上毛町 未来へつなぐ平和の架け橋事業

THE BRIDGE OF PEACE

本事業は、広島東南ロータリークラブが創立60周年の企画として、広島・長崎の爆心地の中間点に位置する上毛町に両市の被爆樹木2世を植樹したいと相談に訪れたことから始まります。町としても世界の恒久平和を願う思いから、長崎南ロータリークラブ・豊前ロータリークラブの協力も得て記念事業を行うことを決め、その後、広島・長崎両市からも快くご賛同いただき、令和元年度より本事業に取り組んでいます。

令和元年度は大池公園において、公園の東側を「広島の高」、西側を「長崎の丘」と位置づけ、それぞれ両市の被爆樹木2世の記念植樹を行い、両市の丘を望む場所に記念モニュメントを設置いたしました。また、平和記念式典において「広島・長崎爆心地中間点上毛町平和宣言」を行い、世界恒久平和の願いを世界に発信する新たな拠点となり、核兵器廃絶と平和な世界の実現を誓いました。

令和2年度は、町内小学生を対象とした被爆体験伝承者による講演、平和創作劇の上演については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しましたが、戦争・原爆というものをより現実として重く受けとめ、一人一人が平和について改めて考えるため、原爆写真・ポスター展、献花式を実施しました。



令和2年度 実施事業

「原爆写真・ポスター展」

開催日時: 令和2年7月9日(木)から8月31日(月)まで
開催場所: 町内小学校、げんきの杜・大平支所・役場



「献花式」

開催日時: 令和2年8月6日(木)、9日(日)
開催場所: 大池公園内「広島の高」・「長崎の丘」及び「記念モニュメント」前



●問い合わせ先 開発交流推進課 TEL 72-3111(内線232・234)



町の「顔」となる公園づくり

上毛町では大池公園を町の「顔」と位置づけ、町内外からの誘客促進と観光振興はもとより、地域の活性化と新たな観光拠点づくりを目的として公園整備を行っています。

平成28年度から行っている遊歩道の再整備と本年6月に大池公園西側に約1,400㎡の広さを誇る親水テラス(野外ステージ)が完成したことで、魅力を増す大池公園は散歩やランニングに訪れる利用者が増え、さらに「こうげ大池灯籠祭」や「こうげ大池イルミネーション」などの各種イベントや「ノルディックウォーク教室」など、多くの皆さんに利用され、新たな町の観光拠点となる公園へと姿を変えつつあります。

公園内には桜やモミジなどが植えられており、春には桜が咲き、夏には水辺が涼しく、秋にはイロハモミジなどが紅葉し、冬にはイルミネーションと四季を通じて散策などが楽しめる町を代表する風情溢れる散策スポットになっていますので、ぜひ皆さんも大池公園をご利用ください。

次の場合は利用承認が必要となりますので役場開発交流推進課までお問合せください。

- ①30人以上の集団で1時間以上利用するとき。
- ②大型の用具、器具類(音響機材など)を持ち込んで利用するとき。

大池公園の活用状況



▲こうげ大池灯籠祭の様子



▲こうげ大池灯籠祭の様子



▲ノルディックウォーク教室の様子



▲こうげ大池イルミネーションの様子

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、上毛町第2次総合計画に掲げている事業のプロセスや課題などを紹介するものです。今月は、「町の「顔」となる公園づくり」の取り組みの特集です。